



② 実績・成果

指標名称 (前期)		H28 (前期1)		H29 (前期2)		H30 (前期3)		R1 (前期4)		R2 (前期5)		R3 (後期1)		R4 (後期2)		R5 (後期3)		R6 (後期4)		R7 (後期5)	
		数量	単位	数量	単位	数量	単位	数量	単位	数量	単位	数量	単位	数量	単位	数量	単位	数量	単位	数量	単位
主な活動指標	デマンド交通の運行回数	2000	回	2000	回	2000	回	2000	回	2000	回	2000	回	2000	回	2500	回	2750	回	2800	回
	実績	1298	回	2360	回	1543	回	2080	回	1884	回	2014	回	2469	回	2673	回	2930	回		回
	達成度	65	%	118	%	77	%	104	%	94	%	101	%	123	%	107	%	107	%	0	%
※数値化できない活動内容や指標の変更等について記載する		8月より延長運行開始に伴う目標値の上方修正																			
主な成果指標	デマンド交通の利用者人数	5000	人	5000	人	5000	人	6000	人	6000	人	6000	人	7000	人	6000	人	8000	人	9000	人
	実績	3488	人	5331	人	5180	人	4076	人	3556	人	3916	人	6415	人	7872	人	9727	人		人
	達成度	70	%	107	%	104	%	68	%	59	%	65	%	92	%	131	%	122	%	0	%
※数値化できない成果や指標の変更等について記載する																					

4 事業の評価 (Check)

評価項目	評価の視点	評価結果	説明
妥当性	実施主体・目的・対象・手段等は公平かつ妥当か？	A	高齢化や交通空白地域の解消、地震後の住民移動ニーズへの対応は住民生活を支える上で不可欠であり、行政の関与は極めて必要性が高い。「厚真町地域公共交通計画」に基づくデマンド交通「めぐるくん」の運行は交通弱者の移動手段確保という政策目的に合致しており妥当である。
有効性	期待された成果が得られたか？	A	令和6年度の利用者数は9,727人(前年度比122%)と大幅に増加し、目標8,000人/年を達成した。若年層の利用拡大や運行時間の延長等が利用促進に寄与し、高齢者等の移動確保と広域的な移動支援という事業目的は十分に達成されており、住民の生活の質向上に有効に機能している。
効率性	コスト面からみた費用対効果は適正か？	B	令和6年度事業費は56,328千円であり、AI配車システムとオペレーターの併用により車両3台を3系統で効率的に運用している。国庫補助金の活用で財政負担を軽減しているが、利用者増加に伴う予約調整の困難化や運行経費増加から運行体制や料金の見直しが必要である。

※評価結果は、A：妥当である B：概ね妥当である C：あまり妥当でない D：妥当でない で評価する

5 今後の方向性・課題・改善提案等 (Action)

予算	継続 (拡大)	サービス	継続 (拡大)	方向性	拡大
理由	利用者が3年連続で増加し目標を大幅に上回っており、事業の有効性は実証されている。高齢化率の上昇や若年層の増加が見込まれる中、公共交通の重要性は今後さらに高まる。利用者増加に伴う運行体制の逼迫や運行経費の増加など新たな課題に対応するため、予算・サービス・運行体制の拡充が必要である。				
課題および改善提案	利用者増加に伴う予約調整の課題が顕在化しているものの、高齢者数はピークアウトしており、今後利用者数は横這いもしくは減少に転ずる可能性を考慮し、継続的に傾向把握に努める。また、運行経費増加に対し、利用料金の適正化や外部財源の積極的活用を検討する。なお、利用データの詳細分析により需要の高い時間帯・エリアを特定し系統の見直しを図る。庁舎等周辺整備事業に地域公共交通のハブ機能を付与し、上厚真地区のゼロカーボンビレッジ整備に伴う新たな需要に対応する運行体制の構築を図る。令和8年度までの目標達成と次期計画策定に向け、協議会における定期的な進捗管理と評価を実施する。				

※予算・サービスは「継続 (拡大・現状維持・縮小)」および「終了」から、方向性は「拡大」「現状維持」「縮小」「終了」から選択する。

6 内部評価 (本欄は、内部評価委員会で使用するため事業担当課は入力しないでください。)

予算	継続 (拡大)	サービス	継続 (拡大)	方向性	拡大	意見
						担当課の評価に対して異存なし。

7 外部評価 (本欄は、外部評価委員会で使用するため事業担当課は入力しないでください。)

評価実施年月日	R 8 年 1 月 27 日	予算	継続 (拡大)	サービス	継続 (拡大)	方向性	拡大
付帯意見 (全体意見)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○デマンド交通「めぐるくん」の運行実績が目標を上回り、町民ニーズに応える重要な事業である。</li> <li>○運行時間の延長など利便性向上の取り組みが利用者増加に寄与しており、今後も継続が必要である。</li> <li>○予約調整の逼迫や運行経費増に対応し、料金適正化や外部財源活用の検討が必要である。</li> <li>▶以上から、予算・サービス・方向性すべてを拡大のうえ事業を継続することが望ましい。</li> </ul>						
その他意見 (個別意見)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○若年層や中高生の利用促進に向けた周知活動の強化が望ましい。</li> <li>○AI配車データの分析により、需要の高い時間帯・エリアに基づく運行の最適化が望ましい。</li> <li>○路線バス・タクシーとの使い分けについて、町民への周知を強化することが期待される。</li> </ul>						

8 外部評価に対する町の考え方

回答年月日	R 8 年 3 月 18 日
<ul style="list-style-type: none"> <li>○デマンド交通「めぐるくん」については、令和6年度の利用者数が9,727人と目標を大幅に上回り、町民の移動手段として定着していることを確認しており、引き続き予算・サービスの拡充を図りながら事業を継続してまいります。</li> <li>○予約調整の逼迫や運行経費の増加については、利用データの詳細分析により需要の高い時間帯・エリアを特定し、運行体制の最適化を図るとともに、利用料金の適正化や国庫補助金等の外部財源の積極的な活用を検討してまいります。</li> <li>○若年層・中高生の利用促進については、学校や関係機関と連携した周知活動の強化に努めてまいります。また、路線バス・タクシーとの使い分けについても、広報紙やSNS等を通じて町民への周知を強化してまいります。</li> </ul>	